

第9回 地域福祉部会 ～多世代による地域支え合い～ 摘録

日 時：平成 29 年 7 月 31 日（月） 18:00～20:00

場 所：区役所第 1 会議室

出席委員：中里部会長、川田委員長、青柳副委員長、老門（聡）委員、大久保委員、
小田委員、砂川委員、椿委員、滝本委員、中村委員（10 名）

欠席委員：葛西委員（1 名）

資 料：次第

資料 1 委員名簿

資料 2 第 6 期スケジュール案

資料 3 地域福祉部会の今後の取組案

資料 川崎市共に支え合う地域づくり検討委員会報告書を踏まえた今後の検討について

その他 菅生分館市民自主企画事業「地域の居場所を考える」チラシ

■資料確認

1. 議事

（1） 取り組み提案の検討について（公開）

※詳細次ページ以降参照

（2） その他（公開）

○川崎市共に支え合う地域づくり検討委員会報告書を踏まえた今後の検討について（資料に沿って事務局から報告）

2. その他の連絡事項

今後の日程等の確認など

【意見交換】

■「地域福祉コンシェルジュ」構想について

中里部会長 高齢者福祉の関係者に限らず、子育てサロンの関係者等も視野に入れる。

大久保委員 具体的な対象、活動の内容、実態や手順を詰めてく必要がある。
例えば、つなぎ先としての福祉の制度や施設の整理、その周囲に存在する人材の整理なども必要だ。

大久保委員 相談を受けるだけでなく、主体的に動きや定期的な集まりの有無なども気になるころだ。自助・互助を推進する人というイメージだ。

椿委員 いろいろな方々対象になるのなら、細かく定義をするのは難しい。具体的なイメージがまだ沸かない。

中里部会長 地域で困っている人を福祉や行政に繋ぐことが、そもそもの議論の始まりだった。

青柳委員 地域福祉を広く捉え、地域で支えていく活動に向けての布石を打つ。

川田委員長 「地域福祉推進委員」といっても良いかもしれない。地域のカフェ・サロンの担い手の核となれるような方にもなっていただきたい。

■「地域福祉コンシェルジュ」構想の進め方、研修会の位置づけなど

大久保委員 区民会議として「福祉コンシェルジュ構想」を提案することで、今後につなげていく。短期的に育成していくのは難しい。様々な福祉分野の方々からお話を聞くことも必要だ。

小田委員 講座の中で概念を理解してもらおう所から始める。活動していく方の支援もしながら、今後につなげていければ良い。私が地域に関わるきっかけとなったシニア講座も区民会議提案から生まれたことを後から知った。

中里部会長 受講して終わりではなく、受講者同士の連絡組織などへの発展は視野に入れたい。

椿委員 いろいろな方と一緒に学びながら目指していく形で、いろいろな切り口から進めていくのが良さそうだ。

コンサル 理想像をまず区民会議で示し、みなさんと一緒につくっていく形。
そして「地域福祉コンシェルジュ」に知っておいて欲しいことの例として、研修を企画する。「認知症サポーター養成講座」もその一つとして位置付ける。

大久保委員 理想像を示し、その実現の為の一步として、研修を企画している

形。

■ 研修会の企画・内容

青柳委員・事務局 フォーラムでの「認知症サポーター養成講座」をさかのぼって第1回とするのは無理がある。あくまで「構想」立案の契機として位置付け、新しく第1回から始める形とする。

川田委員 12月3日に開催される福祉フェスティバルの実行委員会、カフェ企画「まいCafé み～や」の関係者と連携しながら進めたい。合同で地域のカフェ・サロンの役割や運営に関わる研修なども行い、フェスティバル当日のカフェを实地研修としても位置付けられると良い。

事務局 おしゃべりサロン菅生の特別企画「地域の居場所を考える」はカフェやサロンや地域の居場所としての意義や役割、運営方法などを考える講座であり、親和性が高そうだ。9月21日（講師：丹直秀氏）、10月12日（カフェサロン担い手の報告会）の2回が企画されている。（詳細別紙チラシ参照）

■ 受講証明書の発行

事務局 認定書ではなく、講座の受講証明として発行してはどうか。

青柳委員 地域コンシェルジュ構想に賛同いただいている方の印とする。一緒に実現を目指している仲間という位置づけ。

コンサル 表面は受講証明、裏面は「地域福祉コンシェルジュ構想」の概要やその日学んだ内容のポイントなど記してはどうか。各回、色違いで発行するなど、集めていただけるようにする。

■ 研修会のターゲット

小田委員 知識や経験をもった方々をまずターゲットにするが、間口は一般にも拡げておきたい。

川田委員長 不特定多数でなく、ある程度福祉の知識・経験のある方にまず集まっていたきたい。カフェサロンは区内に増えてきているが、まだ小地域単位にまで充分広がっていない。人材がいいるのではなく、探せていない。うまくつなげたい。

大久保委員 地域福祉について、地域で誰が何を知っているのかを把握し、その知っている方々に来ていただければ、話が早くなる。

川田委員 興味があるレベルでなく、実際にやっている方、やりたい方に来ていただく。地域福祉の核になれる人。より具体的な意見も期待できる。

青柳委員・コンサル 無差別な回覧等ではなく、既存の担い手への直接的な声掛けを中心とする。例えば市民館でのカフェ関係者や地域のカフェサロン関係者など。

■研修会概要（決定事項）

タイトル：地域福祉コンシェルジュ構想推進講座

第 1 回：高齢者とお金（財産管理など）

日時：平成 29 年 10 月 25 日（水）10:00～12:30 or 13:30～16:00

※講師（宮前区安心センター・宮地弁護士）のご都合に併せ決定

会場：宮前保健所 集団教育ホール

第 2 回：地域カフェサロンの役割と運営

日時：平成 29 年 11 月 2 日（木）13:30～16:00

※まい Café み～や関係者の都合要確認

会場：宮前保健所 集団教育ホール

※講師等は今後検討

チラシ等：9 月 15 日開催予定の第 5 回全体会で配布を目指す。

※裏面に参加申込書を入れる。

今後の進め方（年内）

| 日程 | 会合名 | 内容 |
|-----------|---------------------|--------------------|
| 9 月 1 日 | 企画部会 | 企画説明 |
| 9 月 15 日 | 第 6 回全体会 | 企画説明・事前広報（チラシ配布開始） |
| 9 月 21 日 | 菅生分館講座「地域の居場所を考える」 | 丹直秀氏講演 ※任意参加 |
| 10 月 16 日 | 第 10 回福祉部会 | 研修会の企画・準備、提案のまとめ等 |
| 10 月 18 日 | 第 1 回まい Café み～や準備会 | ※川田委員長、中里部会長も参加 |
| 10 月 25 日 | 第 1 回研修会 | 「高齢者とお金」（財産管理など） |
| 11 月 2 日 | 第 2 回研修会 | 地域カフェサロンの役割と運営 |
| 11 月 10 日 | 企画部会 | 経過説明 |

| | | |
|-------|--------------------|---------------|
| 12月1日 | 第7回全大会 | 提案内容(案)の発表・討議 |
| 12月3日 | 社会福祉大会 (第3回研修会) | 地域カフェサロン実地研修 |
| 年末 | | 区長への提案 |